

2020年度（令和2年度） 学習の手引き（シラバス）

長野県岡谷工業高等学校

教科	工業	科目	電子回路	単位数	3	学年	2	科	情報技術科
----	----	----	------	-----	---	----	---	---	-------

1、科目の目標

- ① ダイオード・トランジスタなど電子回路体素子の基本的な知識を習得する。
- ② 増幅回路の基本形とその動作を理解する。その応用である各種回路の概要を学ぶ。
- ③ 電子回路の応用や情報技術で必要となる交流回路の基本を理解する。

2、使用教科書・副教材

電子回路(コロナ社)、わかりやすい電気基礎(コロナ社)

3、学習の計画

		学習の内容	考查範囲	予定時数
一学期	5月	交流回路		15
	6月	・正弦波交流 ・交流回路の取り扱い		
二学期	7月	電子回路素子とその動作 ・半導体 ・ダイオード ・トランジスタ 静特性、h定数、等価回路など	一学期期末考查	42
	8月		中間考查	
	9月			
	10月		期末考查	
三学期	11月	増幅回路の基礎と各種回路 ・増幅回路の仕組みと構成 ・増幅回路の動作と特性 ・応用回路	学年末考查	33
	12月			
	1月			
	2月			
	3月			

4、評価の方法

主体的な言語活動	生徒への発問やその解答など対話形式で行い、理解度を確認しながら演習を取り入れ授業展開を進める。
関心・意欲・態度	授業への取組、課題等の取組を見る。また、出席なども参考とする。
思考・判断・表現	課題や演習の過程、またその反応などを注視する。
観察・実験の技能	上記の2項目などを前提として、物の見方や行動力・技術や技能への方法や作業を見る。
知識・理解	上記の3項目を踏まえ、定期考查などを加え総合的に判断する。

5、学習にあたっての注意とアドバイス

半導体の動作などイメージを描くと理解がし易くなる。電子回路の教科書や黒板に記述する図や回路は、丁寧に書き取ることが大切である。また、初歩的な例題や問題を解くことも大切である。